

講義レジュメ

講師 堀 薫夫

(大阪教育大学生涯教育計画論研究室)

期 日 平成 29 年 2 月 14 日

内容・テーマ

高齢化と社会教育

1. 社会の高齢化と今日の高齢者をめぐる問題

- (1) 高齢社会とは? 比率、高齢化の原因、団塊世代高齢化、「健康な」高齢者の増加
- (2) 福祉の視点と教育の視点:社会的弱者への保護、高齢者教育は介護予防か? 「健康な」高齢者への福祉活動(参加型高齢社会へ)
- (3) ライフサイクルの第三期と第三期の大学(フランス型とイギリス型)
- (4) 後期高齢期問題: ライフサイクル第四期、認知症やケアの問題、老年期超越
- (5) ポジティブ・エイジングについて(cf. アンチ・エイジング)
- (6) ポジティブ・エイジングの諸相: ①2007年全米ポジティブ・エイジング会議、②知恵、③選択的最適化とそれによる補償、④オールド・エイジ・スタイル論

2. 高齢者の学習ニーズをふまえた学習支援

- (1) マクラスキーの高齢者の学習ニーズ論: 対処的・表現的・貢献的・影響的・超越的
- (2) 過去をふり返るニーズ: 回想法とライフ・レビュー
- (3) 人間関係再構築へのニーズ: 達成的ニーズから親和的ニーズへ
- (4) 退職の社会学と継続性理論(ロバート・アチュリー)
- (5) つながりへのニーズ: 過去と未来、現代社会と人間関係、悠久なるもの
- (6) 学習能力という視点からみた学習ニーズ
A. 言語性知能と動作性知能
B. 流動性知能と結晶性知能: 成人期以降低下する能力と上昇する能力
- (7) 高齢者学習ニーズ調査から

3. 高齢者学習のカリキュラムの開発と指導者

- (1) プログラムとカリキュラム
- (2) カリキュラム策定のポイント: 現代社会と学習者の経験を学習内容につなげること
- (3) 高齢者教育の指導者論: サーバント・リーダーシップ論、仕えるリーダー

4. 高齢者大学をめぐる問題とその果たすべき役割

- (1) 高齢者大学/老人大学の歴史的背景
- (2) NPO法人大阪府高齢者大学校(廃止からのリカバリー)といなみ野学園の事例
- (3) 高齢者大学の機能変化(大阪府高齢者大学修了生調査と宮水学園調査の結果から)
- (4) 高齢者大学の機能変化
- (5) 大学へのシニア層入学の問題
- (6) エルダーホステル

5. 高齢者の生涯学習をめぐる問題

- (1) 教育・学習の意味が学校教育と異なるということ 教育(education)≠教えること
- (2) 内在的報酬の学習 人生の物語と意味をかみしめる学習 意味への意志
- (3) 「福祉」だけでなく「教育」の視点も
- (4) 高齢者のみの学習か他世代と交流する学習か?

[参考文献]

堀薫夫編『教育老年学と高齢者学習』学文社、2012年。

堀薫夫『生涯発達と生涯学習』ミネルヴァ書房、2010年。

堀薫夫編『教育老年学の展開』学文社、2006年。